

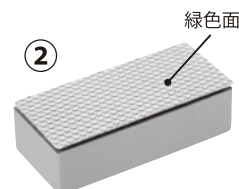
## 1.施工前準備

- 手磨きガラピカ(本品)
- 霧吹きスプレー または 濡れたスポンジ ガラスを濡らす時に使います。
- 水切りスキージ または タオル 作業後、ガラス表面の水分と剥離した被膜を拭き取ります。

## 2.施工手順

- ①施工前にガラスに外観上の欠陥やキズなどがないことを確認してください。
- ②ガラス表面と「手磨きガラピカ」の緑色面をスプレーなどを使い、水で濡らします。
- ③「手磨きガラピカ」の緑色面をガラスに押し当て、素早く擦って磨いてください。  
 付着物が除去されてくると表面の水が白く濁ってきます。  
 この時、水を含ませたマイクロファイバークロスでガラス表面の白濁水を頻繁に拭きながら行くと作業効率が向上します。
- ④磨いた後、ガラスをスキージやタオルで拭き上げ、綺麗になれば完了です。磨き残しがある場合②～④を繰り返し行います。

※特殊環境や薬剤処理の影響を顕著に受けたガラスは、ガラス表面の組成そのものが変質しているため、「手磨きガラピカ」で磨きあげてもガラス本来の輝きを復元できないケースがあります。その場合は、弊社姉妹品「液体ガラピカ」で作業を行ってください。



## 3.お手入れ

使用後の「手磨きガラピカ」は、中性洗剤で綺麗に洗って乾かします。  
 保管の際は直射日光の当たる場所や高温多湿、凍結する所には置かないでください。

## 4.さらに強力な作業が必要な場合

オービタルサンダー(回転数10,000~12,000/min)のものをご使用ください。



推奨工具  
AS550M/京セラ製

## ⚠ 注意

- 手作業でご使用時は必ず付属の専用パッドに装着してください。
- 安全帽、保護メガネ、防塵マスク、防護手袋を着用し作業にあった服装で安全を確認して作業してください。
- 電動工具を使用する場合は、正しい性能のオービタルサンダーをご使用ください。また、ゴム手袋を使用するなど感電事故防止を心がけてください。
- 乗用車のフロントガラス、丸みがかかった形状のガラスには使用しないでください。
- 目立たない箇所で試し、異常のないことを確認してからご使用ください。
- ガラスの表面に特殊処理(フィルム処理や塗装、UV)加工を施しているガラスや鏡へのご使用はお控えください。
- 磨き傷や損傷の原因となりますので、摩耗した「手磨きガラピカ」は使用しないでください。
- プラスチック製のガラス二次製品には使用しないでください。

